

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 大石 久 和

印省略

第645回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるためのi-Constructionの取り組み、AIやロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることであります。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第645回建設技術講習会では、上水道部門では最新の上水道行政施策（水道事業の基盤強化に向けた取り組み）、水道施設のアセットマネジメント、IoTを活用した取り組み、水道施設の耐震化、安全な水道水の供給などについて、下水道部門では最新の下水道行政施策、下水道施設のアセットマネジメント、下水道資源の有効活用、浸水被害軽減の取り組み、i-Gesuidoの推進、B-DASHプロジェクト、最新の技術開発の動向などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久和
印省略

第645回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、平成30年9月26日（水）～28日（金）、鳥取市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、上水道部門では最新の上水道行政施策（水道事業の基盤強化に向けた取り組み）、水道施設のアセットマネジメント、IoTを活用した取り組み、水道施設の耐震化、安全な水道水の供給などについて、下水道部門では最新の下水道行政施策、下水道施設のアセットマネジメント、下水道資源の有効活用、浸水被害軽減の取り組み、i-Gesuidoの推進、B-DASHプロジェクト、最新の技術開発の動向などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は鳥取県・鳥取市の共催（予定）、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
鳥取県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
鳥取県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
中国地区連合会管内の市町村に勤務	18,400円	2,000円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格（2,000円）で参加の場合、取り消しはできません。

※平成30年度より「地区連割」を実施しています。

③現場研修料：7,600円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数「645」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成30年9月7日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

① 平成30年9月14日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
② 平成30年9月21日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD（継続教育）制度」及び「CPDS（予定）」の認定講習会です。

【聴講/現場】全建：8.5単位/2.75単位、CPDS：申請中/3ユニット

講習会情報については全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第645回建設技術講習会(上水道行政の課題・下水道行政の課題)日程 ～上水道行政及び下水道行政施策の最新情報と重要施策の具体の取り組み事例などを学ぶ～

(上水道) 最新の上水道行政施策(水道事業の基盤強化に向けた取り組み)、水道施設のアセットマネジメント、IoTを活用した取り組み、水道施設の耐震化、安全な水道水の供給 等
(下水道) 最新の下水道行政施策、下水道施設のアセットマネジメント、下水道資源の有効活用、浸水被害軽減の取り組み、i-Gesuidoの推進、B-DASHプロジェクト、最新の技術開発の動向 等

会場 …… 【合同/2日】下水道】とりぎん文化会館(小ホール)
【2日】上水道】 ” (第1会議室)
〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5 TEL0857-21-8700(代)

(1日目) 開場11:40		平成30年9月26日(水)【合同】小ホール		(敬称略)
12:40	あいさつ	鳥取県知事	平井 伸治	
13:00		鳥取市長 (一社)全日本建設技術協会 参事	深澤 義彦 加本 実	
13:00	水環境改善に向けた取り組みについて	(国研)土木研究所 水環境研究グループ	小川 文章	
14:00		水質チーム 上席研究員		
14:10	人口減少社会に向けた管路再構築と 災害レジリエントな水道システム	名古屋大学減災連携研究センター 准教授	平山 修久	
15:40				
15:50	【地域事業の紹介①】 江山浄水場について	鳥取市水道局浄水課 課長	福本 優	
16:20				
16:20	【地域事業の紹介②】 よみがえった水源地 ～大正時代の上水道施設の文化財修理～	鳥取市教育委員会事務局文化財課 技師	岡垣 頼和	
16:50				
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:00～19:30(予定))		cafe SOURCE BANQUET (カフェ ソース バンケット) TEL0857-21-3457		
(2日目) 開場 9:00		9月27日(木)【下水道部門】小ホール		(敬称略)
9:40	下水道行政の最近の取り組みについて	国土交通省水管理・国土保全局下水道部	岸田 秀	
10:40		下水道企画課 企画専門官		
10:50	下水道による浸水対策について	国土交通省水管理・国土保全局下水道部	中田 啓介	
11:50		流域管理官付 水害対策係長		
13:00	熊本地震の初動対応と復興に向けた取り組みについて	熊本市上下水道局計画調整部下水道整備課 主査	日高 輝	
14:00				
14:10	豊橋市バイオマスセンター利活用センターについて	豊橋市上下水道局下水道施設課 課長	七原 秀典	
15:10				
15:20	下水道における最新の技術開発動向について	日本下水道事業団技術戦略部	山下 洋正	
16:20		上席調査役兼技術開発企画課長		
16:20	閉会のあいさつ	鳥取県建設技術協会 会長		
(2日目) 開場 9:00		9月27日(木)【上水道部門】第1会議室		(敬称略)
9:40	最近の水道行政の動向について	厚生労働省医薬・生活衛生局水道課	出口 桂輔	
10:40		課長補佐		
10:50	水道水質管理の最近の動向について	厚生労働省医薬・生活衛生局水道課	小林 信彦	
11:50		水道水質管理室 給水装置係長		
13:00	スマート水道メーターの最近の動向について	(公財)水道技術研究センター 調査事業部	関根 康記	
14:00		主任研究員		
14:10	熊本地震から学んだこと ～見えてきた課題と教訓～	熊本市上下水道局計画調整部下水道整備課	島村 幸一	
15:10		技術主幹		
15:20	水道事業における労働災害の防止 ～浄水場におけるリスクアセスメント～	(公社)日本水道協会 工務部技術課	田口 恒夫	
16:20		技術専門監		
16:20	閉会のあいさつ	鳥取県建設技術協会 副会長		
(3日目) 集合 8:00～		9月28日(金)【現場研修】		(敬称略)
JR鳥取南口広場(8:30)出発				
→ 国指定重要文化財「旧美敷水源地水道施設」(保存事業)(下車説明) → 江山浄水場(下車説明) → 昼食(鳥取市内)				
→ 山陰道 鳥取西道路(Ⅲ期) 重山トンネル工事(下車説明) → 鳥取空港(15:40) / JR鳥取駅(16:00) 着後解散				
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。				
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。				
全建CPD(継続教育)制度・CPDS(予定)認定プログラム 【聴講/現場】全建:8.5単位/2.75単位、CPDS:申請中/3ユニット				

第645回建設技術講習会 現場研修事業の概要

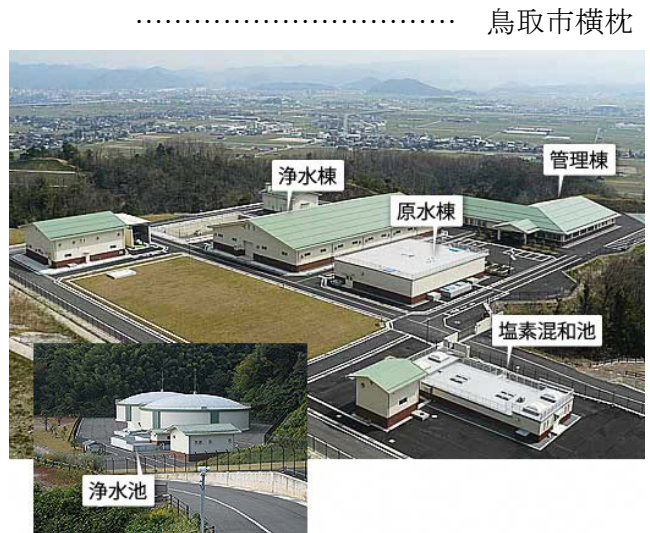
1. 国指定重要文化財 ^{みたに} 旧美歎水源地水道施設

- 全国29番目の近代水道として大正4年に竣工した水源地兼浄水場で、大正から昭和にかけて鳥取市民の水がめの役割を果たした。
- 昭和4年に5号濾過池を増設するなどの改修を経て、昭和53年に休止するまで現役の施設として使用。
- 昭和60年に近代水道百選に選定。すでに廃止された施設ながら歴史的価値が高く評価される。
- 地方水道の典型を示す全体構成がほぼそのまま残存しており、その歴史的価値が認められ平成19年に国の重要文化財に指定。
- 平成23年から平成30年にかけて国及び県の補助を受け、文化財保存修理事業と活用整備事業を実施し、平成30年4月より一般公開を開始。



2. 江山浄水場 ^{こうざん}

- 江山浄水場は、鳥取市の配水量の約8割を賄う浄水場（計画1日最大浄水量80,000m³）。平成22年全面供用開始。
- 良好な水質と安定した水量に恵まれた一級河川千代川の伏流水を取水していたが、原水からクリプトスポリジウム等指標菌である大腸菌が検出されたことから、平成11年に建設を計画。
- この施設の特徴は、原水をろ過する浄水系膜ろ過施設と、浄水系の膜を物理洗浄した洗浄水をろ過する回収系ろ過施設の2段階の全量ろ過方式で、回収率は99.7%となる。
- 原水の水質は良好であるため、前処理は実施していない。



3. 山陰道 鳥取西道路（Ⅲ期） 重山トンネル工事

- 鳥取西道路（Ⅲ期）は、鳥取市気高町下坂本と鳥取市青谷町青谷を結ぶ延長6.4kmの自動車専用道路で、事業目的は、緊急時の代替路線の確保、現道の渋滞の解消、観光・医療・物流活動の支援、広域交流の促進及び地域活性化を図ること。
- 鳥取西道路では、各工区においてICT土工を活用。
- 鳥取西道路（Ⅲ期）区間の内、浜村鹿野温泉IC～青谷IC間については、平成29年12月に開通予定としていたが、重山地区で道路脇の斜面を安定させるために打ち込んでいたアンカー4本が破損。
- 地すべりの恐れがあるため水抜きボーリング工事、押さえ盛り土工事などの応急対策工事を実施したが、法面が安定化せず、広範囲に調査した結果、当初の想定よりも広い範囲での法面変位が判明。
- 現場を埋め戻して新たにトンネルを掘ることを決定。



第645回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には鳥取市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成30年9月25日(火)、26日(水)、27日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
鳥取ワシントンホテルプラザ 鳥取市東品治町102 Tel.0857-27-8111	シングル	40名	7,580円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第645回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成30年9月26日(水) 18:00～19:30(予定)

(第645回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：cafe SOURCE BANQUET(カフェ ソース バンケット)

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。

※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

※講師の都合により変更になる場合があります。

- ・名古屋大学減災連携研究センター 准教授 平山修久 講師
- ・国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課 企画専門官 岸田 秀 講師
- ・国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官付 水害対策係長 中田 啓介 講師
- ・厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 課長補佐 出口 桂輔 講師
- ・厚生労働省医薬・生活衛生局水道課水道水質管理室 給水装置係長 小林 信彦 講師
- ・熊本市上下水道局計画調整部下水道整備課 主査 日高 輝 講師
- ・豊橋市上下水道局下水道施設課 課長 七原 秀典 講師
- ・熊本市上下水道局計画調整部水道整備課 技術主幹 島村 幸一 講師



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

2会場となりますので、部門別の欄も必ず記入してください。

平成30年 月 日

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第645回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			部門別		現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会 員	正会員 30 歳 未 満	上 水 道	下 水 道			予約日に○を 記入して下さい		
									9月 25日	26日	27日	
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元及び地区連管内の市町村) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」 及び開催地区連合会管内の市町村に勤務する「正会員」(賛助会員除く)								↑ 現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※		宿泊代金は、 ホテルチェックイン 時に全額お支払 いください。 禁煙・喫煙の希望 がある場合には、 “○禁”、“○喫”の ように記入してくだ さい。		
現場研修料		名×7,600円＝ 円		計 円								

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、割引価格(2,000円)で参加の場合、キャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。